



はな いちもんめ

花いちもんめ



五つの努力項目

1. あいさつをしよう
2. 時間を守る
3. 掃除をしつかりする
4. 返事をはつきり
5. 授業を大切に!

NO. 20 平成23年3月18日 (金) 唐津市立湊中学校学校通信

祝卒業 湊中学校 第64回卒業証書授与式



～大きな可能性を秘めて!～



平成22年度唐津市立湊中学校第64回卒業証書授与式が11日(金)に挙行されました。感動の卒業式でした。大変真面目に頑張ってきた3年生。彼らの一生懸命な姿が今も心に焼き付いています。大きな可能性を秘めて彼らは巣立っていきました。校門前に立って、3年生の顔をもう見る事ができないと思うと、淋しい気持ちになります。新たな夢に向かって進んでほしいと思います。

在校生の態度もとても整然としていて立派でした。これは特筆すべきことです。良き卒業式を作ってくれました。あらためてお礼を言いたいと思います。次は君たちの番だ!

式辞

学校裏の金比羅山の菜の花が黄色く色づき、水仙の甘い香りがたどよい春の訪れが感じられる本日、唐津市立湊中学校の第六十四回卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、唐津市教育委員会、山崎泰雄様をはじめ、地元のご来賓の方々や保護者の皆様方のご臨席をいただき、高いところからではございますが、教職員、在校生、共々、心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

さて、二十九名の卒業生の皆さん、本日の卒業、誠にありがとうございます。皆さん一人ひとりが手にしている卒業証書は、義務教育九か年の全課程を修了したことをあらわしています。中学校三年間で、皆さんは、心身共に著しく成長しました。特に三年生になってからの活躍は、記憶に新しいものがあります。

生徒会の委員会活動で、学校のリーダーとして、下級生を的確に指導してきました。「VICTORY・心をひとつに」が今年の体育大会のテーマでした。そして、wish for happiness「笑顔の花を咲かせよう」。これが文化発表会のテーマでした。それぞれの目標に向かって、学校全体が、燃えるような時間を過ごしました。一つの目標に向かって努力する日々の中で、辛いこと、苦しいことにも耐え、しかも他に対する思いやりをもつこと、一人ひとりが協力し団結することの大切さをいろいろな活動を元に体験的に学びました。体育大会や文化発表会、当日の感動とそこに至るまでのプロセスを忘れないでほしいと思います。

五月の京都への二泊三日の修学旅行では、日本の古来の文化に触れ、日本人としての心のルーツを学びました。日本文化の素晴らしさを心に刻んだことだと思います。また人と防災未来センターでは、災害の怖さと人々とのつながりの大切さ、命の大切さ、すばらしさを心に刻んだことだと思います。

七月、同じ目標を持つ仲間と厳しい練習に耐えた部活動では、野球部は準優勝を果たし、県大会に出場を果たしました。また、この大会で、伝統ある湊中女子ソフトテニス部が最後の闘いでもありました。すべての部活動が熱い戦いに燃え、心に残る一中体連大会でした。

唐津地区中体連競争大会には本校チームは男女とも大検討をし、みんなでたすきをつなぐ中で、湊中生としてのお互いの信頼を確認することができました。

さて、話は変わりますが、地球上にすんでいるため、実感は勿論ありませんが、地球は秒速三十キロメートルの速さで太陽の周りを走っているといえます。この壮大な宇宙の営みの中で、地球上には間違いなく巡ってくる春夏秋冬があり、決してその季節を忘れずに咲く花々があります。しかし私たちは、それほど長く地球に住めないかも知れないのです。「人類はこのままでは今後千年以内に滅亡するだろう。最も深刻なのは地球温暖化だ。気温が上がり続け、自然災害が頻発するようになる。最終的には、金星のように煮えたる惑星になるだろう。人類が生き残る唯一の道は、地球を離れて別の惑星に移住することだ」。これは、イギリスの物理学者スチーブレン・ホーキンス博士の説です。そして今、科学者たちは火星を対象にして、そこを『もう一つの地球』に改造し、人類が移り住むための研究を本格化させているといえます。

私は今、遠い遠い未来の話をしました。夢と希望あふれる皆さんの門出に絶望的な地球の未来を語るのは、いささか不謹慎だったかも知れません。

しかし、人類の生き残りを賭けたこの研究は、単なる未来の回避対策ではなく、否定的な現実から目をそむけずに、それを厳しく見つめ直し、その改善を模索する取り組みでもあるのだということに着目してください。

卒業生の皆さんは、明日からは、これまでの頑張りを財産に、自らを更に一段高いところへ導く営みの第一歩が始まるうとしていきます。その向上や成長を、私は自己変革、自らを改造する試みであると言い換えたのであります。

火星を地球に改造する過程が、現在の地球の問題点を究明することでもあるのと同様、自分が「もう一人の自分」に変革するのは、現在の自身の課題を明らかにすることでもあります。皆さんの限りない可能性に、心から拍手を贈ります。終わりにになりましたが、本日ご臨席賜りました卒業生の保護者の皆様方に一言お祝い申し上げます。お子様のご卒業心からお祝い申し上げます。このように立派に成長された我が子をご覧になられ、いままでのご苦労も吹き飛んだことと拝察致します。三年間に渡り皆様にとってかけがえのない大切なお子様をお預かりし、私たちが教職員一同、三年担任を中心として微力を尽くしたつもりです。中には不行き届きの面があったかと存じますが、常に本校の教育活動に対し、温かいご理解とお力添えを賜りましたことに、心より御礼申し上げます。何かの折には、どうか私どもを相談相手として思い出していただければ幸いです。

卒業生の皆さん、いよいよお別れです。皆さんの限りない前途を祝福して、式辞といたします。



平成二十三年三月十一日

唐津市立湊中学校 校長 米山正博



評 価 項 目		1年	2年	3年	全校
学校運営	① 保護者や地域に、教育重点目標を知らせる努力をしている。	3.1	3.5	3.1	3.3
	② 保護者や地域の願いに応えた教育(指導)を行っている。	3.3	3.3	3.1	3.3
	③ 様々な情報発信により、学校・学級等の取組や願いを十分に紹介している。	3.0	3.4	3.3	3.3
	④ 学校からの便り(学校だより、学級通信、生徒指導だより等)は読んでいます。	3.0	3.3	3.6	3.4
	⑤ 授業参観や学校行事等は、保護者の来校を促す手立てを講じて、参加しやすいものになっている。	2.7	3.0	3.0	2.9
	⑥ 今年度、授業参観や学校行事等のために年間3回以上は来校した。	3.2	3.3	3.2	3.3
	⑦ 学校とPTA(保護者)、地域との協力体制ができています。	3.1	3.4	3.1	3.2
	⑧ 生徒の危険予知能力や危険回避能力を高める手立てを講じて、安全や事故防止に努めている。	3.2	3.3	3.1	3.2
	⑨ 生徒や保護者の相談に適切に対応している。	3.3	3.3	3.0	3.3
	⑩ 通知表は、生徒の学力や達成度を適切に評価できるように工夫されている。	3.4	3.4	3.1	3.3
	⑪ 校舎内外の環境整備が施され、生徒の豊かな心の育成に役立っている。	3.3	3.2	3.0	3.2
	⑫ 学校生活の様子を子どもから聴いている。	2.8	3.1	3.0	2.9
学力向上	① 分かりやすい授業づくりに努め、生徒は集中して授業に取り組むことができている。	2.9	3.0	3.0	3.0
	② 授業において、指導方法を工夫・改善し、生徒のやる気を引き出し、基礎的・基本的な内容の確かな定着を図っている。	3.0	3.0	3.2	3.1
	③ 学習内容をおおむね理解している。	2.6	2.8	3.0	2.8
	④ 宿題、週末課題、頑張りノート等に進んで取り組めるよう指導・支援し、家庭学習習慣を定着させている。	2.5	3.0	3.2	2.9
心の教育	① 道徳の時間や学校生活全般を通して、命を大切にす心、思いやりや感謝の心に入力して指導している。	3.2	3.3	3.3	3.3
	② 授業参観や学級だより等により、生徒の実態や道徳意識を知らせ、保護者に対して心の教育の啓発ができています。	3.3	3.3	3.3	3.3
評 価 項 目		1年	2年	3年	全校
人権・同和教育	① 授業や学校行事等を充実させ、生徒の人権意識を高めている。	3.1	3.2	3.1	3.2
	② 家族や友達に対して、思いやりのある言葉づかいや親切な行動ができています。	3.1	2.9	3.1	3.0
生徒指導	① 友達と仲良く協力しながら、落ち着いた学校生活を過ごしている。	3.2	3.2	3.5	3.3
	② 元気な挨拶や返事ができています。	2.8	3.2	3.1	3.0
	③ 日頃から、生徒を褒めたり、励ましたりして、指導している。	3.2	3.2	3.1	3.1
	④ 安全・安心な生活を心がけている。	3.3	3.4	3.2	3.3
読書活動	① 読書を好きになり、家庭でも読書に取り組んでいる。	2.3	2.7	2.3	2.5
	② 学校は、生徒や保護者に読書を奨励するための手立てを工夫している。	2.8	2.8	2.6	2.7
生徒活動	① 朝の挨拶運動や清掃活動に参加したり、生徒会活動を頑張ったりしている話を良く聴く。	2.9	3.2	3.1	3.2
	② 地域の行事に参加している。	2.9	3.1	3.0	3.1
健康・体づく	① 朝食を毎日きちんと摂っている。	3.5	3.7	3.7	3.7
	② 早寝早起き(午後12時前には就寝し、午前7時前には起床する。)の習慣が身についている。	2.9	3.1	3.3	3.2
	③ 日頃から、うがいや手洗いの習慣が身についている。	2.4	2.8	3.0	2.8
小中連携	① 小・中学校が連携して共通な指導を行い、9年間という期間で児童・生徒の健全な育成を図っている。	2.9	3.2	3.2	3.1
学習環境	① 本校の少人数指導やTT指導によるきめ細かな指導は学力向上や学習習慣の育成に役立っている。	3.1	3.3	3.5	3.3
	② 学習でつまづいている生徒に対して特別に配慮した学習指導(補充指導等)を行っている。	2.6	3.0	2.9	2.9
	③ 家庭学習を充実させるための学習課題(宿題)の量は適当である。	2.6	3.0	3.2	3.0